

ハモコミ通信は①②と毎月2回、メール配信させていただいております。①のほうはホームページでも公開しておりますとおり、A4版1枚のペーパー版も作っています。何かを郵送するついでに同封するようにしています。

HP上のバックナンバーも、このペーパー版のみ都度公開しており、②のほうは1年分まとめたの公開とさせていただいております。

2025年②特集、どうぞお楽しみくださいませ。

ハモコミ通信2025年 1月号②

<まちネタその1>

◎ 樋口一葉に学ぶ

「つらいときには自分より苦労した人のことを思い浮かべるようにしている」と述べたのは、伊藤忠商事会長の岡藤正広氏です。

岡藤氏は、その一人として、明治時代の小説家である樋口一葉の名を挙げています。

「女性が学問を学ぶことが難しい」とされていた時代に、その逆境の中で生活に困窮して借金に追われる苦境にあっても小説を書き続けた樋口一葉。

その努力が実を結んで認められたものの、二十四歳の若さでこの世を去りました。

岡藤氏は、「彼女の無念を思えば、我々の苦労などいかにほどこか」と述べ、一葉の残した言葉には背筋が伸びるとも語っています。

人は他人と自分を比べることで、優越感に浸ることもあれば、劣等感にさいなまれることもあります。

しかし、自他の比較を通じて、自分が置かれている環境がいかに恵まれているかを知る機会にもなります。

他者を知ることは、単に知識を得るだけでなく、客観的に自分を見つめ直し、生きる気力を湧き起こさせる貴重な作業となり得るのです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

先日、サヘル・ローズさんの記事を読んで、ちょっとしたことでグダグダ思っていた自分はなんと愚かなことか、と身が引き締まりました。

サヘル・ローズさんと言えば、タレントで女優というイメージですが、児童養護施設の支援活動を行ったり、国際人権NGOでも親善大使として世界中の紛争地域や難民キャンプなどを慰問して、子供達を励ます活動をされています。

ご自身が児童養護施設で育ち、7歳で育ての親に引き取られ、そのご縁で日本で暮らすようになり、中学生時代、ひどいいじめと差別に遭って自殺まで考えてたという幼少期をくぐり抜けてこられた方。

ご自身の体験をもとに今の活動があり、その言葉には力がこもっており、とても勇気づけられました。

樋口一葉さんの本は読んだことがありませんが、24歳で亡くなったということは、無念はなはだしいことですね。

岡藤正広氏の言葉にも力強い信念を感じます。

「栗山英樹ザ・トップインタビュー」というNHKの番組で対談している岡藤氏の言葉の一つ一つが、すべて体験から発せられている重みがあり、終始にこやかで温かみもありながら、迫力があり凄いなあ、と感じた記憶があります。

劣等感にさいなまれるような見方はせず、すべてをプラスの肥やしとしていきたいものですね。

<まちネタその2>

◎ 手洗い器の不具合

Kさんの職場のトイレでは、数日前から自動手洗い器の水の出が悪くなっていました。トイレを利用する社員たちは、「最近、手洗いの水の出が悪い」「センサーが壊れているのでは」と使いづらさを漏らしていました。

そんなある日、長期出張から帰ってきた先輩が、自動手洗い器の不調に気づくと、誰に指示されたわけでもなく施設担当部署へ電話し、この件を伝えました。

すると、すぐに担当者が業者を手配し、その日のうちに修理が終わり、いつも通り快適に使用できるようになったのです。

その様子を見ていたKさんは、「自身が壊したわけでもないのに、先輩は改善に向けてすぐに動

いてくれた。それに比べて自分は、不具合に気づいても《誰かがやるだろう》と、見て見ぬふりをしていた」と反省しました。

決められた仕事だけでなく、誰の仕事でもないプラスアルファの働きをする人によって、私たちの仕事や職場は支えられています。

皆が気持ちよく過ごせるように、周囲に気を配りたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

この先輩のような人がたくさんいる組織は、活気があり、常にものごとが良い回転で動いていきそうです。

誰かがやるだろう、誰かがやってくれてラッキー、といった組織風土の場合、先が暗いと言えます。

組織風土は常に一定ではありません。一人の行動や雰囲気が良い方向にもその逆にも作用していきます。

『誰の仕事でもないプラスアルファの働き』に気づく力を養い、気づいたら率先してやっていく風土は、上に立つ人が率先して拓いていきたいですね。

~~~~~

#### < 編集後記 >

「光の春」というのは立春の頃の季語のようですが、すでに陽の光に春の兆しは感じられるようになりました。

今年の冬は実に冬らしい厳しい冬ですね。嫌がらず、この季節ならではの風物詩を味わっていきましょう。

## ハモコミ通信2025年 2月号②

### <まちネタその1>

#### ◎ 予期せぬアナウンス

私たちは感謝の思いをどれだけ言葉にできているのでしょうか。出張の多いA氏には、今でも忘れ

られない印象深いフライトがあります。

ある日、搭乗した飛行機が目的地に着陸後、通常とは異なるタイミングでパイロットからアナウンスが流れたため、A氏はイヤホンを外して耳を傾けました。

「お客様、本日で客室乗務員の〇〇が最後のフライトとなりました。長年にわたり、お客様に快適な旅を提供できるよう最善を尽くし、我が社に貢献してくれた〇〇に、機長としてお礼を言わせていただきます。ありがとうございました」

機内は乗客からの温かな拍手で包まれました。A氏は心が温まり、このフライトを共にできたことが忘れられない思い出となったのです。

最後の仕事となった客室乗務員は、この一件で今までの仕事に誇りを感じ、他のスタッフとのつながりも強固になったのではないのでしょうか。

こうした特別な場に限らず、日常の職場や家庭でも、感謝の気持ちを伝えるときは「ありがとう」と言葉にして伝えたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

#### <コメント>

ウルツとききました。簡潔な表現で、時間にすれば1分もかからなかったことでしょう。

しかし、機長はこのためにあれこれ考えをめぐらしたことが容易に想像できますね。

客室乗務員にとっては、機内業務が一番の持ち場でしょうから、お客様にも拍手をもらえて感無量だったことでしょう。

乗客としても、普段このようなアナウンスを機内で聞くことは経験してませんので、インパクトも大きく、心が温まったというのもうなづけます。

このような気遣いができるようになりたいですし、コラムにあるように、日常してくれているたくさんの方のことに對しても、それを当たり前と考えず、言葉にして感謝したいものです。

### <まちネタその2>

#### ◎ きっぱりとやめる

「サック・コスト（埋没費用）」という言葉があります。これまでに投入したお金や時間などのうち活動を縮小・中止しても、もはや戻ってこないものを指します。

例えば、面白くない映画を観るために支払ったお金や、うまくいっていないプロジェクトにこれまでかけたお金や労力などがこれに該当します。

人間は、このように取り戻すことができないコストに影響されて、不合理な選択をしてしまうことが知られています。

映画が明らかに面白くないと感じたのならば、視聴をやめて他のことをする方が有意義なのかもしれません。

それにもかかわらず、支払った料金を惜しんで最後まで映画を見続けたくてしまうのです。

人間には「すでにコストを支払ったのだから続けよう」と考える癖があるのです。それゆえ、不要と思ったら、その行動を見直すことが大切なのです。

日常生活の中で惰性で続けていることはないでしょうか。定期的に点検し、変えるべきところは変えていきましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

#### <コメント>

なかなか難しいですね、これは。映画だって、そのうち面白くなるかもしれない訳ですから。

定期購読している月刊誌については、最初にパラパラとめくって、ピンときたものだけを読むようにしています。まあ、そのくらいは誰でもそうするか。。。 (笑)

バイキング料理はそこそこセーブできるのですが、飲み放題だと、つつい必要以上に飲んでしまいます。これもサックコストかな？ やっちゃってますね、完全に (笑)。

「サック・コスト (埋没費用)」という言葉覚えておくだけでも効果がありそうな気がしますね。

~~~~~

< 編集後記 >

まだまだ厳冬の里山の森の中で、笹竹が10cmほどムクっと伸びてきました。原木シイタケも可愛い頭を出してました。大地はすでに春に向けて準備万端、始動しています。

とは言え、まだまだ寒さは厳しく、寒さで縮こまった体をほぐす方法は、それぞれの型をお持ちかと思えます。

私の場合はやっぱり温泉でしょうか。山作業

の後のひと風呂は実に最高です。

ハモコミ通信2025年3月号②

<まちネタその1>

◎ 人生の指針

高校を卒業して15年が経つMさんですが、卒業式での校長先生の式辞は、今も人生の指針となっています。

校長先生は、「私たちの社会から消えつつある言葉の一つが『誠実』です」と前置きし、誠実が人間性を高める重要な要素であり、人々の誠実さが社会を支えていると述べたのでした。

さらに、卒業生に対して、「どんな小さなことでも誠実に行ない、他人には誠実に接する人間になってほしい」と語り、最後に「誠実であることは人間を偉大にする」と式辞を締めくくりました。

近年、Mさんは校長先生の言葉の真意に気づきました。

校長先生は皆に「偉大な人間になれ」と叱咤したのではなく、「誠実というものは人間を偉大にする。誠実そのものが偉大なのだ」と伝えたかったのだと感ずるようになったのです。

Mさんは、これからも業務に誠実に向き合い、お客様や職場の仲間にも誠実に接することで、良い社会づくりに貢献したいと考えています。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

素晴らしい校長先生だと思いました。

「小さなことを『誠実』に行い、人と『誠実』に接する」というのは、『信頼』へつながる非常に重要で不変な「人としてのあり方」ですね。

弊社の企業理念でも、外せない重要なキーワードとして使わせていただいています。

世の中には時代の流れと共にどんどん変えていかなければならないことと、変えてはいけないことの2種類がありますね。『誠実』は後者の代表選手のようなものと言えるでしょう。

時流に乗るものとして、AI技術の習得などももちろん大切です (弊社でも講座をやってま

す)。

しかし、誠実さや倫理観に欠けた人がAIを使うと、危険なツールと化してしまうことは言うまでもありません。

フェイク○○といったものが蔓延すると、どこに信をおいたら良いかわからなくなってしまいますね。

「誠実であることは人間を『偉大にする』」とまで言い切ったこの校長先生、そしてその15年後に「誠実そのものが偉大なのだ」と感じ取るに至ったMさん、どちらも素敵です。

<まちネタその2>

◎ うららか

「春のうららの隅田川」から始まるこの歌は、武島羽衣作詞、滝廉太郎作曲の『花』です。

学校の音楽の時間に歌ったり聞いたりした人も多いでしょう。

「うららか」は、晴れた空やのどかな日差しなど、春の陽気を表わす言葉としてよく使われます。

それ以外にも、心が晴れやかであることや、隠し事やわだかまりがない状態を示す場合もあります。

ここで、「心」は表には見えないことから、「うら(裏)」と読むとされています。

馴染みが薄いかもかもしれませんが、現在でも「心寂(うらさび)しい」「心悲(うらがな)しい」「心泣(うらな)く」「心(うら)ぶれる」などの単語が存在します。

『花』の歌詞では、桜や青柳、明け方の空や朝露、そしておぼろ月など、多くの自然の美しさが歌われています。

歌を通して自然と接することで、私たちの心も豊かになるでしょう。

人は美しいと感じるものに触れれば触れるほど、その感性が磨かれます。

身近な自然を通して、うららかな心を保ちたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

「人は美しいと感じるものに触れれば触れるほど、その感性が磨かれます」という一文に惹かれました。

なんとなくそうかな、という感覚はもちろんありましたが、このように明確に言い切ってもらえると、新しい発想が生まれます。

よく「感性を磨こう」という表現がなされますが、では具体的に何をすればよいか、と聞かれると返答に困るかもしれません。

「美しいと感じるもの」は人それぞれかもしれませんが、確かに自然の美しさは、ダイナミックで精緻で色彩豊かで、強く優しく激しく穏やかで多種多様で圧倒的です。

弊社が関わっている通称「オレの山」に身を置いていると、大小さまざまな「美しいもの」に出会うことができます。

これから本格的な春到来。自然を満喫しましょう！

~~~~~

< 編集後記 >

大船渡の森林火災、何とか雨と雪で鎮火してくれて、ホッとしました。

亡くなられた方のご親族、家屋消失など被災された数多くの方々に、心よりお見舞い申し上げます。

時あたかも3.11直前の鎮火。

復興支援については、まず関心を寄せ、そしてかの地のためにお金を使うことが何よりと思っています。

### ハモコミ通信2025年4月号②

<まちネタその1>

### ◎ きつねとぶどう

イソップ寓話のひとつに「きつねとぶどう」の物語があります。

きつねが美味しそうなぶどうを見つけて食べようとしますが、木の高い場所に実っているため届きません。

何度か挑戦した後、「あのぶどうは酸っぱくて美味しくないに違いない」と言い残し、他の食べ物を探しに行きます。

この物語からは、うまくいかなかったことに対

して、単なる負け惜しみではなく、心を前に向けることの大切さを学ぶことができます。

仕事で失敗したとき、反省することは大切ですが、いつまでも落ち込んでいては仕事がかどりません。

失敗の原因を分析し、改善点を見出したなら、心を切り替えて仕事に臨む必要があります。

まずは、明るい表情や挨拶、胸を張る、腰を真っすぐに伸ばす、深呼吸をするなど、行動を変えるところから始めてみましょう。

明るく前向きな心は、仕事を円滑に進める原動力となります。日頃から明るい動作を意識して、前向きな心と姿勢で業務に臨みたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

#### <コメント>

この寓話は、これまで「負け惜しみ」の心、すなわち狐の負の側面を表したものとして語られていたように思います。

社会心理学の専門家からは、防衛機制のうちの『合理化』を表すエピソードだ、と。

防衛機制とは耳慣れない言葉ですが、不安やストレスにさらされた時に自分を守るための心理メカニズムだそうです。

ちなみに防衛機制を調べてみると、11種類あるとのこと。

- ①抑圧 ②否認 ③逃避 ④合理化 ⑤投影
- ⑥同一視 ⑦退行 ⑧反動形成 ⑨代償 ⑩昇華 ⑪補償

具体例は割愛しますが、とても興味深かったです。日常よくやっていることです(笑)。

⑩と⑪は未来志向の素晴らしい対応、と言われそうですが、人間ですからそうそう理想どおりにはいかないでしょう。

このコラムの解釈は現実的なものだなあ、と思いました。自分を苦しめず、やっていきましょう。

#### <まちネタその2>

### ◎ アジリティー犬カイリー「新たな目標」 営業部長有澤健児

前回のコラム(令和6年8月号②)の後、カイリーは次の競技会でAG(タッチ障害あり)をクリーンランすれば、2度昇格となる予定でした。

しかし、10月のJKC東北ブロック競技会AGで、ゴール前で1ミスがあり、11月9日のJKC神奈川ブロック競技会AGでも1ミスがあり昇格出来ず…

ちょっと焦りましたが、翌10日にクリーンランし、2度昇格が決まりました。

決まったのは良いのですが、よそ見癖を心配していたら、「カイリーは、2度の難しいコースの方がよそ見る余裕がなくなるから問題ない」と先生やコーチから言われました。

確かに、その後の2度レッスンを見ていたら、よそ見が少なくなった気がしました。

そして迎えた2度初挑戦の12月のJKC東京ブロック競技会。

最初のJP(タッチ障害なし)は、何度かあぶないところがありましたが、クリーンランで10席(10位)でした。

次のAGでは、カイリーがコースを間違えたため失格となりました。原因はハンドラー(妻)の検分ミスにより、立ち位置が悪かったためでした。

その後、年末年始のレッスンにより、ハンドラーは徐々に2度慣れし、検分力も以前よりも身につけてきました。

3月、準備万端で迎えた2度2戦目のJKC神奈川北クラブ競技会。カイリーの出場するクラスは90頭と多く、スタートが69番目と今までで最も待たされるので、集中力を維持しなければなりませんでした。

最初のAGでは、カイリーに落ち着きがなかったものの、走り出したらスイッチが入ったようにスピードに乗り、そのまま勢いよくゴールし、クリーンラン出来ました。

頭数が多かったので順位は気にしていませんでしたが、4席(4位)入賞しました。

カイリーは、スタート後は集中力があり、ハンドラーは良い緊張感を維持する事が出来ました。

課題はまだあり、簡単に出来るとは思いませんが、AGをあと2回クリーンランすれば3度昇格となります。

そして、AG2(2度)またはAG3(3度)をクリーンランするとポイントカードがもらえる事がわかりました。

今回は5ポイント獲得。合計20ポイント以上でアジリティーチャンピオンになれるそうです。

あと15ポイントで『チャンピオン犬』と聞くと、ハンドラーも私もモチベーションが上がります。

私もなるべく家での自主練やフィールドでのレッスンに付き合い、“2人”のフォローをしたいと思います。

今年のチームカイリーの目標は、3度昇格&20ポイントゲットです。

~~~~~

< 編集後記 >

ある講話のレジュメの中にあった言葉が印象に残っています。

ゆるしについて

・ゆるしとは「相手は無罪放免にする手段」ではなく、「自分を自由にする手段」であり、過去や感情に縛りつけられていた自分を解放することができる

・ゆるしは、感情や心の痛みを否定することではない

・ゆるしは、相手の責任を追及しないことではないし、自分の権利を放棄するものでもない

・一瞬だけ幸福になりたいのなら、復習しなさい
永遠に幸福になりたいのなら、ゆるしなさい

ハモコミ通信2025年5月号②

<まちネタその1>

◎ 幸福の時間

Aさんは会社で責任ある立場になり、忙しい日々を送っていました。

ある日、先輩にそのことを話すと、先日読んだ本に書かれていたことを教えてくださいました。

それは「人生には四つの時間がある。やりたいこと、喜びを得られることをする『幸福の時間』、目的のために努力する『投資の時間』、やらなければならないことをする『役割の時間』、無意識に過ごす『浪費の時間』という内容でした。

そして先輩は「A君は忙しくなったことで仕事を楽しめていないのかもしれないね。

『役割の時間』にあたる仕事に喜びを感じられたら、それは『幸福の時間』にもなるんだよ」と言いました。

Aさんは、今の仕事をやりたくて入社したはず

が、業務に追われる中で、いつしか仕事に楽しさを見出せなくなっていたことに気づきました。

Aさんは先輩の言葉をきっかけに、初心を思い出すことができました。

それ以降、Aさんは忙しい中でも、「投資の時間」を作り、「幸福の時間」を生み出せるように仕事に取り組んでいます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

いろいろな分類の仕方、ものごとの切り取り方、とらえ方があるものだなあ、と思いました。

何を「幸福の時間」と感じ、何を「浪費の時間」ととらえるのかはまさに人それぞれですね。ポジティブに捉える、という一択で良いような気もしますが。。

ある友人が言った言葉が私にとっては衝撃でした。「私は月間スケジュールがスカスカだと嬉しいの」

見せてくれた月間スケジュールには3つくらいしか予定が書かれていませんでした。スカスカの日には自分が自由に考えたこと、気の向くまま過ごすのが良い、と。

真逆の人と話をするのは刺激的です（笑）。

私の場合、「役割の時間」「投資の時間」に幸せを感じる事が多く、自分の目線（物差し）で人を見てはいけないな、と改めて感じました。

<まちネタその2>

◎ 杵岐産業営業部長大下諭司のコラム

最近よく耳にする「AI」という言葉。

杵岐産業としても定期的にセミナーなどを開催し、社内でも講師を招き、AIについて何回か学んでいます。

最近自分でもハマっているのが、撮った写真をAIにイラスト化してもらう機能です。

例えば「ジブリ風にして」とAIにお願いすると、ジブリのようなイメージのイラストを描いてくれます。

他にも、私が子供のころにハマった「ビックリマンチョコ」というおかしにシールが付いた商品がありますが、これもAIでシールのようなイメージを作成することができます。

AIに「ビックリマンシール風にして」「上に○○

という名前を入れて」「周りをキラキラにして」というような指示をすると、ビックリマンシールのキラキラ風のイラストを作成してくれます。

しかも無料で作成してくれるから驚きですよ。

あまり仕事には結びつかないかもしれませんが、このイラストで少し AI を身近に感じることは出来ました。

最近ではメールの要約などもやってくれて、便利だなと感心することも増えてきています。

どんどん急速に発展していく AI。私も取り残されないように、楽しみながら普通の生活や仕事に活かしていきたいと思います。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

~~~~~

#### < 編集後記 >

「カラマツの新葉でお茶を作りたいので、どこかカラマツがあるところ教えてもらえますか」と友人 S さん。

「それなら『オレの山』にあるから、採りに来てください」と言ったものの、いざ友人が来てオレの山を探してみたら、無い！（汗）ギャッ！

「あったと思ったんだけど勘違いだったか…。ごめんなさい。では一緒に栗駒山方面に探しに行きましょう」ということで奥山方面に車を走らせました。

1 時間弱探し回ってようやく見つけたカラマツは、枝がかなり高いところにあり、葉っぱが採れない…。う～む。。。

これはよほど運に恵まれないと、見つけたとしても葉っぱの収穫には至らないんじゃないかということになり、やむなく引き返しました。

もちろん望みは捨てず、あたりをキョロキョロしながら。するとどうでしょう。

「おおー、あれ、カラマツっぽい！ しかもかなり下の方まで枝が付いてるぞー！」

興奮して駆け寄ってみるとやはりカラマツ。枝にも手が届き、幸運にも大量収穫できました！

めでたしめでたし、と「オレの山」に戻ってきたら…、「あれ?? カラマツだ！」。

何と、森の入口にありました（笑）。別なところにあったと勘違いしていて、入口付近はノーチェックでした。

ありがちな話ですね（笑）。チャンチャン。

## ハモコミ通信2025年 6 月号②

< まちネタその 1 >

### ◎ 家族の絆

ある日、A さんの子供が三歳児検診を受けました。

一通りの検査を終えた後、医師から「成長の速度が少し遅いかもしれません」と告げられました。

上の子よりも少し成長が遅れているとは感じていましたが、予想外の言葉でした。

医師の診断を受け入れたくない気持ちや、その子が大きくなった時の不安が押し寄せた A さんは、職場の先輩に相談しました。

先輩は話を聴いた後、「一番よくないことは何だろうか」と尋ねました。

ハッとした A さんは「自分と妻が暗くなることです」と答えました。

先輩は「たしかに成長の速度が遅いかもしれない。でも、夫婦が仲良くしていれば、乗り越えられる。家族の絆を深めてくれる存在になるかもしれない」と励ましてくれました。

身の回りに起こることはそのまま受け止めるしかなかった。しかし、それをどう受け止めるかは自分次第です。

困難な状況でも、前向きな視点を持つことで、希望を見出したいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

#### < コメント >

相談者の A さんの答え、素晴らしいですね！なかなか即座にこういう答えは出てこないんじゃないでしょうか？

私たちは、家族のこと、お金のこと、仕事、健康、人間関係などで、大なり小なり問題・悩みを抱えていますよね。何も悩みがない人の方が少ないと思います。

悩みの渦中にいる時はたいてい視野が狭くなっており、問題に一方向からばかり集中してしまっているため、負のスパイラルに陥ってしま

うことが多々ありますね。

そんな時、信頼できる人に相談し、少し離れたところから客観的に多角的に捉えてアドバイスをもらえるのは有難いですね。

「過去と他人は変えられない」のですから、私たちにできることと言えば、「今・ここ」の受け止め方を磨くこと。

その際、「朗らかに」受け止める、「逃げずに正面から」

受け止める、周りのせいにはしない、「何か意味があるのではないか」という心の姿勢で受け止める。。。

この先輩、ひととおり話を聞いたあとで、「一番よくないことは何だろうか」という問いを返すあたり、相談事に慣れている方ですね、きっと。

<まちネタその2>

## ◎ 営業主任黒澤創(はじめ)のコラム

皆さん、家や車の防災セット、最近チェックしましたか？

弊社でも、社用車に防災セットを備えていたが、恥ずかしながら、管理せず放置していました。

先日、ペットボトルの水が賞味期限切れになっているのが発覚。慌てて新しいものに交換したのですが、ふと疑問が湧きました。

「半年期限が過ぎた水、捨ててしまっても良いだろうか？」

気になって「水 賞味期限」で検索してみたら、驚きの事実が判明しました。なんと、水自体には賞味期限がないのだそうです。

殺菌処理された未開封の水は腐ることはありません。ただし、ペットボトルは通気性があるため、少しずつ水が蒸発していきます。

そうすると記載の容量よりも減ってしまう。だから賞味期限が設定されているんですね。

昔、自宅の備蓄水が期限切れ間近になって、慌てて料理やお茶に使いましたが、この知識があれば、あんなに焦る必要はありませんでしたね。

災害時に必要な水は、飲み水だけではありません。

- ・手洗い用
- ・食器洗い用
- ・トイレ用

今回の発見で、防災セットの見直しがちょっと楽になりました。皆さんも、期限切れの水を見つけても慌てず、上手に活用してください。

~~~~~

<里山サポーター会員募集のお知らせ>

長い歴史を通して育んできた木の文化の国日本。その日本の原風景とも言える里山が荒れている警鐘として、獣害問題が毎日のようにニュースになっています。

「里山保全は里山を大いに利用すること也」という基本コンセプトの下、これまでにないスタイルの里山の利活用方法はないか？と手探りしながら取り組んできたのが「オレの山」年間レンタルプロジェクト『森のサブスク 里山 ReReRe』です。

<https://www.facebook.com/profile.php?id=61557989044609> (←詳細はこちら)

区分オーナーとして里山の森を1年間レンタルするのは少しハードルが高いけど、取り組みそのものは良いことだから、応援するよ、という声を何人かからお聞きしました。

そのように応援してくださる方の声を形にしたのが「里山サポーター会員」という制度です。

これは里山をレンタルはしないけれど、都度都度のライトイベント情報を個別にご案内差し上げて、取組みの細かい部分も知っていただく。

そして参加できる時には参加していただくという会員制度で年会費(令和7年4月1日~令和8年3月31日)3,000円です。

ご賛同いただければ嬉しいです。目標30名に対して現在12名です。

~~~~~

< 編集後記 >

今回黒澤が取り上げた水の賞味期限の話を、ほぼ同時期に別の人から聞きました。

シンクロ(シンクロニシティ)と呼ばれるこの現象は、多くの人が様々な実体験を持っていると思います。

そこに何を意味づけするか、今回は特に必要性を感じませんが、時にはその意味をあれこれ考えたくったりしますね。

<まちネタその1>

### ◎ 人生の調味料

和食を作る際、基本の調味料や使用する順序を表わすものとして「さしすせそ」(「さ」は「砂糖」、「し」は「塩」、「す」は「酢」、「せ」は「醤油」、「そ」は「味噌」が一般的によく知られています。

適切な調味料を適度な量で用いることによって、料理や材料その物の味が引き立ちますが、翻(ひるがえ)って、私たちの人生を彩る調味料は存在するのでしょか。

ストレスが心身に与える影響を世に広めたカナダの生理学者ハンス・セリエ博士は「ストレスは人生のスパイスである」という言葉を残しています。

一般的にはストレスは避けるべきものとされています。

しかし、人間も含めて自然界におけるすべての存在が、ストレスを受けることによって様々な機能や能力の成長・進化が期待できるとセリエ博士は述べています。

トレーニングで負荷を与えることによって筋肉が鍛えられ、野菜もストレスを与えることで甘みが増します。

料理に調味料が必要なように、「ストレスが無ければ味気ない人生」と捉えて、適度に受け入れていきたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

ずいぶん前のハモコミ通信の記事で、うなぎを遠距離輸送する場合、その水槽にウツボを1匹入れることでうなぎの活力が高まるという記事を紹介した記憶が蘇りました。

しかし、ここではもう一步踏み込んで、機能や能力の成長・進化をうたっています。さらに、ストレスがない人生は、味気ない人生である、と。

本当に大変な試練と闘っている方にとっては、とてもそうは思えないかもしれません。ストレスは人生のスパイス、ということは、スパイスが強すぎると料理がおいしくなくなる、という

ことでもあるわけです。

程度の問題はいろいろあって難しいところかもしれませんが味気ないとまで言われるとストレスに対する見方、感じ方が少し変わりますね。

避けよう避けようとしていたことが、正面から受け入れてみると、一転して大きなチャンスに変わったという経験の持ち主は少なくないでしょう。

ものごとの受け止め方は大事ですね。

難の無い人生は無難な人生。難の有る人生は有難い人生！あるお店に貼ってあった言葉です。

<まちネタその2>

### ◎ 精彩を放つ

「精彩」とは、美しい色彩や鮮やかな艶を意味しますが、一方で、生き生きとした感じや活気ある姿という意味も持っています。

澁刺とした雰囲気や溢れ、他と比べて良さが際立っている様子は「精彩を放つ」と表現されます。逆に、ぱっとしない、冴えない、調子が振るわないときは「精彩を欠く」という言葉が使われます。

職場には、それぞれに多様な環境とそこで働く人々の個性があります。

一般的には生き生きとした対応を求められることが多いですが、場によっては神妙な面持ちを必要とすることもあるでしょう。

いずれにしても、社員の言動から「精彩」が放たれば、取引先や顧客から好印象を持たれるはずで。

逆に、精彩を欠いた仕事ぶりでは、信用や信頼を勝ち取ることはできないでしょう。

一人ひとりの「精彩」ある言動が、職場環境に心地よい緊張感を与えることにつながります。

今日一日 キビキビとした行動を意識したいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

「精彩を放つ」。なんて美しい響きでしょう。イキイキと同義語かもしれませんが、こちらのほうが日本語の良さが際立つ感じがします。

「精彩を放っているね」というのは、最上級の褒め言葉。ぜひ職場全体がそうありたいものです。

逆に「精彩を欠いてる」なんて言われるとガクッときちやいますね。

今、日本全体がやや精彩を欠いている感じがします。コラムにあるように、一人ひとりの言動の質が問われます。

当事者意識を持ち、澄み切った張り切った心で取り組んでいきたいものですね。

~~~~~

< 編集後記 >

ハモコミ通信ですが、7月号①から新しいシステムを使って配信させていただいております。

無事届いているのだろうか、とちょっと不安だったりしています。

よろしければ、講座の申込みなり、プレゼントCDの申込みなりしていただけると、ああ、確かに届いているな、と確認できます(笑)。

もちろん、ちゃんと届いてるよー、といったメッセージも、とても嬉しいです。

ハモコミ通信2025年8月号②

< まちネタその1 >

◎ 感性を磨く習慣

「感性」と聞くと、生まれ持った才能や特別な環境でしか磨けないと思う人もいるかもしれませんが。

しかし、感性を磨くためには、特別な環境は必要ではなく、日常の習慣で養うことができます。

感性が磨かれると、相手の心遣いに気づきやすくなるだけでなく、相手が何を求めているのかも分かるようになります。

これにより周囲の人との良好な関係性を築くことができ、仕事にも多くの場面で役立つでしょう。

感性を磨くためには「観察する習慣」を身に付けるとよいと言われています。例えば、日々の生活の中で身の回りの景色や状況を観察してみましょう。

まだまだ暑い日が続きますが、そんな日々の中でも秋に向かって自然は移り変わっていきます。その情景を観察することでも感性は磨かれます。

また、暑さを自分の言葉で表現するのも良いでしょう。「汗ばむ陽気」「温室並み」など、多様な言い回しを使用することにより世界の見え方も変わってきます。

日々の生活の中で、観察する習慣を身に付け、感性を磨いていきましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

< コメント >

「感性を磨くにはどうすればいいですか？」と問われたら、自分なら何と答えるかなあ、と考えてみました。

アートに触れる、特にアートの極致とも言える自然に触れる、ということがパッと思いつきました。しかしそれでは不十分だということに気づかされました。

「観察する習慣」が感性を磨く、と。なんとなく見てもそれなりに感じるものはありますが、観察するとなると、一歩踏み込んだ黙想が伴いますね。

そして、「自分の言葉で表現する」ことで更に磨かれる、と。確かに。多様な言い回しを使う、というのも参考になります。

目の前で起きる出来事や周りの状況などを、「当たり前」と流さずに掘り下げてみるには、慌ただしく時間に追われてはダメですね。

周囲の人との関係性にまで影響が及ぶというのですから、忙しい、慌ただしい、ということ自体を何とかしなければなりません。反省、反省。

< まちネタその2 >

◎ 正直な感想

経営者のM氏は幹部社員3名を自宅に招いて、食事会を開きました。自らの手料理を振る舞い、日頃の労をねぎらいながら、会話も弾みました。

最後には、M氏自慢の手打ちそばが振る舞われました。最近、M氏はそばづくりに凝っており、歓談の時もそば打ちの話に花が咲き、参加者一同が関心を示していました。

M氏は2種類のそばを出しました。1つは自作の手打ちそば、もう1つはスーパーで購入した市販のそばです。

M氏は、市販のそばを自作の手打ちそば、自作の手打ちそばを市販のそばだと紹介をして、食べ

てもらいました。

幹部社員のAさんとBさんは戸惑いながらも市販のそばを「社長の手打ちそばはおいしい」と言いました。

ところが、Cさんは恐縮しながらも「どちらかと言えばこちらです」と手打ちそばを指したのです。

M氏はいたずら心でしたことに詫びを入れ、自分の感じたことを正直に伝えたCさんへの信頼を深めたのでした。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

蕎麦好きの私としては、このようなお呼ばれは大歓迎。自慢の手打ちそば、ぜひいただきたい(笑)。おっと、そういうコーナーではありませんね(笑)。

M氏との関係性の近さに寄っても対応は分かれそうですが、自分だったらどう答えるかな、と思いました。

AさんBさんは、真面目で、周囲との関係性を大事にするタイプですね。

このようなタイプの幹部がいることで社内の調和が保たれ、任せた業務は卒なくこなしてくれそうな安心感を感じます。

Cさんタイプには、新しいチャレンジを推進してもらいたいですね。多少の困難にはへこたれない強さを感じられます。

いちいち細かい指示を出すよりも、責任を預け、業務を丸ごと任せるようにすると良さそう、と思いました。

~~~~~

### < 編集後記 >

子供の頃、お盆の3日間は父がお経をあげ、家族は20分程、正座で痺れた足をもじもじさせながら、神妙な顔をして終わるのを待ちました。スイカやトウモロコシが待ってるので。

曹洞宗の修証義というお経は、すべてフリガナがふってあるので、「お前がやってみろ」と、小学校高学年からは、意味もわからず、にわか坊主を務めてきました。

今も一人暮らしの母と二人でこの習慣を続けています。二人共膝が悪く、正座できずイスに座ってますが。

熱心な仏教徒ということではないのですが、お経をあげることで自分が習慣となり、ネットで経典の意味を知ること、意味を感じながら、チーン、チーン、とやっています(笑)。

## ハモコミ通信2025年9月号②

<まちネタその1>

### ◎ 知っているつもり

脳科学者の西剛志(たけゆき)氏は、物事が上手くいかない人とそうでない人の違いを調べた結果、「知っている」という言葉を使うと脳は変化を止めてしまうと述べています。

『ああ、それはもう知っている』と思った瞬間に、脳はこれ以上学習する必要はないと判断して、思考を停止してしまうため、知っていると思ったことでも「自分は知らない」と謙虚な態度を持つことが大切だと西氏は語ります。

会社員のSさんの日課は、3歳の子供を寝かしつける際に絵本の読み聞かせをすることです。

子供が毎晩リクエストする絵本は、これまで何度も読んでいるもので、Sさんは読むことに飽きていたましたが、子供はいつも楽しそうに耳を傾けています。

そんな子供の様子を見ながら、Sさんは業務中の出来事を思い出しました。

上司からアドバイスを受けた時に「この話は前にも聞いたな」と思うと、内容が耳に入ってこず、これが自分自身の成長を妨げているように感じたのです。

知っていると思ったことも心を空にして聞き、成長につなげたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### <コメント>

これは本当にそう思います。知ったかぶりはダメですね。

表面的なことや大まかなことは知っているかもしれませんが、ことの本質や細部、或いは発した人の真意などを聞き落としている可能性があります。

併せて、自分にとっての意味を紐づけしよう  
としない限り、ただの情報で終わってしまいま  
すね。

先日、同じ人の同じ話を 3 日連続で聴く機会  
がありました。このコラムを読んでいたおかげ  
で、「知ってるつもり」にならずに済みました。

同じ話とはいえ、会場の雰囲気が変われば話  
の内容も少し変わりますし、前には感じなかつ  
た部分に心が動かされたりしました。

「それは知っている」と思った時こそ、この  
コラムを思い出したいと思いました。

<まちネタその 2 >

### ◎ もうはまだなり、まだはもうなり

「もうはまだなり、まだはもうなり」という言  
葉は相場の世界で語り継がれてきた格言で、教訓  
や戒めを簡潔に表した「相場格言」として知られ  
ています。

相場とは、商品や株式、債券などの価格を指す  
だけでなく、市場での価格変動によって生じる差  
額で利益を得る取引そのものを意味します。

この格言は、<もう高値（あるいは底値）に達し  
た>と思った瞬間に、さらに価格が動くことがあ  
り、<まだまだ上がる（あるいは下がる）>と思う  
と、すでに限界に達していることがあるという、  
予測の難しさを表わしています。

いつの時代でも、未来を正確に予測するのは困  
難であり、自分の思い描いた通りに物事が進むこ  
との方が少ないのが現実ではないでしょうか。

日常生活や仕事においても、想定外の出来事は  
常に起こり得ます。不測の事態に備えるには、他  
者の意見に耳を傾ける柔軟さと素直さが重要です。

広い視野を持ち、多様な考え方を受け入れる姿  
勢こそが、想定外の事態への備えでもあると言え  
るのではないのでしょうか。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

相場の世界はよくわかりませんが、確かにこ  
ういうことはよくありますね。

コラムでは、「不測の事態に備えるためには」  
という前提を入れていますが、広い視野を持ち  
多様な考え方を受け入れる姿勢は、常に大切な  
ことですね。

これまで遭遇したことの無いことに対処せざ  
るを得ない場合、最終的には勘に頼らざるを得  
ない場面もあるでしょう。

勘を鍛えるにはどうすればよいかについては、  
これまで何度か書かせていただきました。

勘を支えるものとして、コラムにあるような  
広い視野と種々の経験は欠かせません。

しかし、人ができる経験は限られています。コ  
ラムにあるように、多様な考えを受け入れる姿  
勢というのも重要だと感じました。

併せて、結果を真摯に肯定的に受け止めて、前  
に進む覚悟も必要ですね。

ものごとがうまく行かなかった場合、下した  
結論を後悔しがちですが、次につながる自分な  
りの総括をして、判断の質を高めていきたいで  
すね。

~~~~~

< 編集後記 >

所属している宮城県キャンプ協会のイベント
で、ペール缶による竹炭づくりを体験しました。

花炭（木の実などで作る観賞用の炭）は、お菓
子の缶や桃缶で作れることも知り、これはさっ
そく自分の山イベントでもやりたい！と思いま
した。

9月27日（土）に森林セラピストによる森林セ
ラピーも含めて行うイベント情報を弊社 HP に
掲載しています。

<https://iki-sangyo.co.jp/log/?l=552672>

ハモコミ通信2025年 10号②

<まちネタその 1 >

◎ 謝罪の言葉

人間関係を煩雑化（はんざつか）させる要因の一
つに、「謝罪の有無」が挙げられます。

過失による些細（ささい）な出来事が生じた時
でも、謝罪の言葉があれば、被害の拡大や関係の断
絶に至らずに済むケースを多く見聞きします。

「謝れない人」には、主に 4 つの原因があると思
えられます。

1 つ目は、立場や体面を気にして謝罪を避けるケース。

2 つ目は、謝るタイミングを逃してしまったケース。

3 つ目は、恐怖心から萎縮してしまうケース。

そして4 つ目は、責任を転嫁し、自己中心的に現実から逃避するケースです。

カウンセラーで作家の根本裕幸氏は、「素直に謝ることができない」のは、罪悪感を抱いていることが原因であり、その罪悪感の扱い方として「なかったことにする（スルーする）」という選択をしてしまうのだと述べています。

「謝れない人」は、良好な人間関係を築くことができず、また再構築することも難しくなり、気づかぬうちに周囲の人々から疎外されていく恐れがあります。

すぐに謝罪ができない場合も、まず相手の気持ちを理解しようと努めましょう。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

謝ることを最初に覚えるのは子ども同士のけんかではないでしょうか。

兄弟同士の場合は親が、クラスメイト同士だと先生が間に入り、有無を言わず「どっちも悪い」と二人をゴツンして強制仲直り、っていう思い出があります（笑）。

瞬間はムツとしてもお互いに謝罪してしまうとスッキリして、すぐに仲直りしたものでした。理由より謝罪の言葉がお互いの心のトゲを溶かすのですね。

謝罪されない側の立場に立ってみると、いかなる理由にせよ、なかったことにされてたまるか、体裁ばかり気にして腹立たしい、とりつくりわれると、どんどん怒りがエスカレートしていきますね。

子どもとは違って取るべき責任が大きい場合もありますが、まずは真摯にお詫びすべき時は心から詫びる。そこから何かが動き出すことでしょう。もちろん打算はいけません。

また、過度に相手を許さない姿勢も考えものです。相手を許せない人は、許せない気持ちが体中に満ち溢れ、関係のない人や関係のない案件まで暗くしてしまいます。

どうしても許せない、という場合、まずは「許せない自分を許す」ところから始める、という

話を聞いたことがあります。いかがでしょうか。

<まちネタその2>

◎ ウォーキングでの出会い

Aさんは健康維持のため、早朝に近所の公園でウォーキングを始めました。

いつからか、杖を突いて公園をゆっくり一周する高齢の人と顔を合わせるようになりました。同じ時間に会うその姿に、親しみを感じるようになりました。

ある日、Aさんが話しかけると、その人は穏やかな口調で、「本当は日中に歩きたいのですが、人の多い時間帯は迷惑をかけてしまうので…」。

そう言いながらも、「けれど早朝は空気が澄んでいて、体の調子も良くなるんですよ」と、前向きな笑顔を見せてくれました。

自分の希望より周囲への配慮を優先する心遣いに、Aさんは感動しました。そして、望まない状況であっても前向きな姿勢に切り替える大切さを学んだのです。

Aさんは、日頃から自分のペースや考え方を家族や職場の人に押し付けてはいなかったらどうか、と思い至りました。

そしてAさんは、これからは他人の意見にも耳を傾け、自分の意に沿わないことがあっても、肯定的に受け止めようと決意したのです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

Aさんの学ぶ姿勢と応用力、決意、素晴らしいですね。

そもそもAさんの話しかけがとても感じが良いから、高齢の方も穏やかに話をしてくれたのですね。

じっくり耳を傾ける姿勢が感じられなければ、そこまで話してくれなかったかもしれません。

そしてAさん、そこで感じたことを自分の日常と照らし合わせて、反省する心が実に素晴らしい！ なかなかそうはできてないものですよ。

このような素晴らしい話を、これまでも何度も読んでいのに、あまり進歩してないなあ、と気づく我でした（笑）。

~~~~~

### < 編集後記 >

熊被害が深刻ですね。弊社では熊対策グッズを幅広く取り扱っているのですが、新聞やTV局の取材をいろいろ受けています。

一番大切なのは熊に出遭わないこと。熊が嫌う臭いを発する「熊をぼる」という熊忌避剤(税込 2310 円)が人気です。

今や山に入る人の必須アイテムとなった熊撃退スプレーは、買いたくてもお店では売り切れていて買えなかった、という人も多いのではないのでしょうか？

弊社も現在庫はゼロになってしまいましたが、10 月下旬に大量入荷予定です。

国産スプレーとして、現時点では唯一米国熊スプレー安全基準に準拠した「熊一目散」(専用ホルダー付き税込 14080 円・5 年間有効)です。

業務で山に入る人も、秋の野山を楽しみたい方も、備えは万全にしておきたいものですね。

## ハモコミ通信2025年 11 号②

### < まちネタその 1 >

#### ◎ ゴミ置き場

社宅に住んでいる M さんの地域では、月曜日はプラスチック、火曜日は燃えるゴミ、水曜日は燃えないゴミといったように、曜日ごとに回収されるゴミの種類が決まっています。朝 9 時までにはゴミを出すルールとなっています。

社宅に住んで以来、M さんには腹立たしいことがありました。住人たちはゴミの分別を守り、決まった曜日に出しているのに、部外者が勝手にゴミを捨てていたのです。しかも、分別が守られていないゴミまでも散見されました。

ゴミ置き場に注意書きを掲示しましたが、まったく効果はありません。

そこで住人同士で「どうすれば部外者のゴミをなくせるだろうか」と話し合いました。

様々な意見が出されましたが「ゴミ置き場が汚いとゴミが捨てられるのかもしれない」との考えに至り、全員で清掃を行なうことにしました。

数時間の清掃で、塵一つない、清々しいゴミ置き場となりました。

その後、社宅内でのゴミ出しのルールを改めて確認し、美しいゴミ置き場の維持に努めると、不適切なゴミが捨てられることは、なくなったのです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### < コメント >

通勤ゴミ拾いを始めて 10 年以上が経ちました。A~E コース、中にはわざわざ遠回りするコースもあります。

B コースの途中のブロック塀に、ある時、こんな張り紙が張り出されました。「空き瓶を捨てないでください」

確かに何度か同じ場所にオロナミン C の瓶が置いてあり、同じ人が捨ててるなあ、と、いつもどおり拾ってました。

このチラシが張り出された翌週、そこには 10 本ほどのオロナミン C の瓶が捨てられていました。

張り紙をあざ笑うかのような行為。私はいつもどおりそれらを拾いました。

その翌週そこを通ったら、「空き瓶を持ち運んでいただきありがとうございます。〇〇」と家主さんの名前入りでお礼のメッセージが張り出されていました。

名前入りに気持ちが込められているなあ、と感じると共に、この気持ちは捨てた人の心も溶かすのでは？と思いました。

事実、今は張り紙もなく、瓶も捨てられなくなりました。

このコラムでも、心の置きどころ、心の矢印の向きを変えたことで、良い結果が得られました。

同じような体験をお持ちの方がいらっしゃったら、教えていただけると嬉しいです。

### < まちネタその 2 >

#### ◎ やればできる

「頭上運搬」とは、自動車などで物が運べないような地域で、人が荷物を運ぶ際に使用されている身体技法の一つです。アフリカ、中南米、東南アジア一帯で見られる頭上運搬は、1980 年代半ば

まで、日本でも沖縄県で行なわれていたことが分かっています。

幼い頃に頭上運搬を行なった経験がある人々に聞くと、「教えてもらったことはなく、自分にもできると思ってやったらできた」と答えるそうです。

こうした頭上運搬についての著作を持つ、津田塾大学名誉教授の三砂ちづる氏は、身体技法ができるようになるコツとして「できると思ったらできる。できないと思ったらできない」と述べています。

これは、何かに取り組む際の心の在り方として重要です。「できる」「やってやるぞ」という心が、物事を可能にし、成功に導くのでしょう。

目標を立てたり、新しく何かに取り組んだりする際は、できるかできないかで考えるのではなく、「できる」と信じて、果敢にチャレンジしたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

#### <コメント>

誰もができる、と思えることは、誰もができるのです(笑)。これは難しそうだな、と大抵の人が思うことをやれると嬉しいものですよね。

すぐには出来そうもないが、時間をかければ出来そうなこと、一人では出来そうもないが、チームを組めば出来そうなこと、普通の方法では出来そうもないが、方法を工夫すれば出来そうなこと、など、「打つ手は無限」という言葉があるとおり、「できる」と信じてやっていきたいですね。

それでももたげてくるのが、「やっぱりできないんじゃないか?」といった不安な気持ち。そんな自分といかに闘うか。果敢にいきましょう!

~~~~~

< 編集後記 >

今までは、たわわに実った柿の木を見ると、秋の恵みだなあ、と詩的情緒が思い巡ってきましたが、今は、熊が食べにくるんじゃないか、とついつい思ってしまいます。

思い出深い柿の木を泣く泣く伐採した方もいらっしゃることでしょう。

自然界の異変に不満を漏らしても仕方ないので、しっかりと対応していかなければなりません

んね。

ハモコミ通信2025年 12号②

<まちネタその1>

◎ 玄関のゴミ袋

Tさんは夫婦で家事を分担しており、「ゴミ出し」はTさんの役割でした。

回収日になると妻から「お願いね」と声がかかり、ゴミ出しから戻ると「ありがとう」と感謝される、そんな日々が続いていました。

ところが、ある時から様子が変わります。回収日には、無言で玄関にゴミ袋が置かれるだけになりました。

労いの言葉もなく、ただそこにある袋を淡々と処理するだけになったのです。

<私が捨てるのが当たり前みたいじゃないか>とゴミ袋を出すたびに、<一言くらいあってもいいのに>という不満がTさんの心の奥で膨らんでいきます。

そんなある日、ふと自分の日常を振り返ったとき、妻がしてくれる洗濯や食事の準備を、どれほど「当たり前」と思っていたかということにTさんは気づきました。

<言わなくても分かるだろう>と感謝を怠っていたのは自分だったのです。

その気づきが心のわだかまりをほぐし、Tさんは以後、妻に「今日もありがとう」などと感謝や労いの言葉をかけるようになったのです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

これはイタイです。痛い。痛い。痛い。。

これまでの人生で何度も何度も同じ反省を繰り返していること自体が問題です。

家族そしてステークホルダーの皆様。特に家族ですね。

意識するようにしているつもりでも、なかなか身につくレベルに至ってないのがお恥ずかしい限りです。

目を外に拡げていくと、世の中がうまく回っ

ているのは、誰かがその役割を担ってくれているから。

大雨が降っても簡単に洪水にはならないとか、滅多に停電にならないとか、街がキレイだとか、いろいろな当たり前には誰かの不断の努力があることを知って感謝したいです。

<まちネタその2>

◎ 協力的とは

「共有地の悲劇」という言葉があります。共有の牧草地で、皆が自分の利益を優先して過剰に家畜を放牧すると、草が食べ尽くされ、皆が損をするという話です。

この事態を避けるには、互いに協力し、家畜の数を調整する必要があります。

こうした状況は、私たちの身近な場面にも見られます。

例えば、新人教育は、部署全体で協力して行なうのが効率的ですが、忙しさから、一部の人に負担を押し付けたりすると、長期的には部署全体の成長を妨げることになります。

ただし、何が全体にとって良いかは、時代や状況によって変わります。例えば、かつては残業や早朝出勤が協力的な姿勢と見なされることもありました。

他方、効率よく定時で仕事を終えることが、組織として良いとの考え方もあります。

協力的か非協力的かという評価は、状況によって逆転することがあるのです。

協力とは、単に他者と同じ行動を取ることはありません。何が全体にとって望ましいかを見極

めようとする姿勢そのものが、協力の本質です。

職場でも、慣習や思い込みにとらわれず、本当に良い行動とは何かを問い続けたいものです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<コメント>

不変の真理は、「何が全体にとって望ましいかを見極めようとする姿勢そのものが、協力の本質」という部分ですね。

コラムにあるように、技術革新や社会風潮の変化とともに、常識そのものが変わってきています。

思い込みにとられる傾向がなきにしもあらず、いや、あるなあ。ある。自戒を込めて取り上げたコラムでした。

~~~~~

< 編集後記 >

今年も1年間ハモコミ通信をご愛読いただきまして、誠にありがとうございました。

「いつも読んでるよ」とか「いい話だったね」とか「朝礼でネタとして使わせてもらってるよ」など、嬉しいフィードバックをいただいたりすると、俄然やる気が高まります。

そんな読者の皆様に支えられながら、また来年もがんばって書き続けていきます。

最後になりましたが、皆様のますますのご健勝とご多幸を心より祈念し、締めくくりたいと思います。

ありがとうございました。どうぞ良いお年を！